

議案第31号「鈴鹿市自転車駐車場管理条例の一部改正について」

議案審査のポイント

(問) 自転車駐車場にトイレは必要なのか。

(答) トイレ建設の経緯については、白子駅前広場整備検討委員会からトイレが必要であるという提言をいただいた経緯がある。当初は駐車場と合併した形でなく、別々の建設計画であったが、トイレの位置等々から反対の意見もあり、関係部局でも議論が進められる中で、駐車場の中にトイレをつくり、しかも、駅からなるべく離れた位置にするという経緯があった。

(問) 自転車駐車場の利用者が最終電車を利用したときに困るので、開場時間を延長してはどうかという意見も聞くが、今後検討はしないのか。

(答) 今までも終電までという提案ももらっており、地元と再度協議の上、例えば24時までにするという1年間の試行も視野に入れることを考えている。平成8年に白子駅東自転車駐車場を建設した時の時間設定根拠としては、周辺の民間の駐車時間を考慮して設定した経緯がある。

請願第2号「手話言語法(仮称)制定を求める意見書の提出を求める請願書」

請願審査のポイント

(問) 手話言語法(仮称)の中身についてはどのようなもので、その内容には、手話の獲得・習得などの施策が盛り込まれているようだが、手話を学校での授業に取り入れるというようなことなのか。

(答) 全日本ろうあ連盟が関連団体等の協力を得て準備を進めている手話言語法案によると、習得については、特別支援学校・ろう学校に、手話ができる教員の配置をするようにという規定が設けられている。また、学校で手話が学べるような環境づくりにも努めなければいけないという表現もある。

主な討論

※討論は議案に対する賛否の態度、考え方を明らかにするものです。(討論順)

< 議案について >

森川ヤスエ議員 (日本共産党)

議案第29号に反対し、その他の議案には賛成する。軽自動車税の引き上げによる税収増は、自動車取得税の引き下げにともなう減収分の穴埋めとなり消えてしまう。公共交通網の弱い地方都市住民や低所得者層の負担増が将来的に発生する減収分の穴埋めにされることは許せない。また、法人市民税の税率引き下げについては、地方自治体の自主財源の税率を引き下げ、そこから発生した財源を消費税増税で生じる地方間の税収不均衡を是正する地方法人税として国が管理し地方交付税の原資とするものであり反対する。

中西大輔議員 (すずか倶楽部)

議案第29号に反対し、その他の議案には賛成する。今回の税条例の改正によって地方法人税が創設され、鈴鹿市の自主財源である法人市民税から2年後には2億3千万円が国庫に入る。これが地方交付税として分配されるがどのような形で分配されるかが不透明であり、国は説明責任がある。また、軽自動車税について、バイクの税額改正は平成27年度からの適用であり、まだどのように変わるか分からない中で本市は税額を改正するため、税制のあり方についてこの街で考えるという観点の2点から反対する。